

吉田南キャンパスにおけるタンポポ属3種の分布調査と 繁殖様式の比較

目的と観察項目

1. 吉田南キャンパス構内には「セイヨウタンポポ」「カンサイタンポポ」「シロバナタンポポ」の3種が生育する。この3種の分布を地図にプロットする。
2. この3種が生育する環境の違いを君の「感性で」観察する。
3. この3種の総個体数を集計する。
4. セイヨウタンポポで、「花粉を作っているか、作っていないか」を一株ずつ確認する。そして最後に集計する。セイヨウタンポポは「無配生殖（とりわけ、アポガミー）」によって種子を形成するために、花粉を作らない個体がある。
5. 実習の始めに、一人一本ずつ、セイヨウタンポポのつぼみ上部を切り取って継続観察用の茎を作るので、その後の経過（開花したが、雄しべも雌しべも先端がない→咲き終わって総苞が閉じた→瘦果がどうなるか？）それぞれの過程について日付を付けて観察記録をとる。
6. 文献等を使って、3種の繁殖様式を調べ上げる。

レポート：

上記6項目を全て調べてレポートにまとめる。1については、配った地図に書き込んで提出する。5の観察には2週間ほどが必要である。そこで提出期限は3週間後の指定する日時とする。



セイヨウタンポポ

カンサイタンポポ

シロバナタンポポ

総苞外片が反り返る

総苞外片が内片に付く

花冠の色が白い

Taraxacum officinale

T. japonicum

T. albidum

Map 上の表記：●

○

△



カンサイタンポポの外観



シロバナタンポポの頭状花序

頭花ともいう



セイヨウタンポポの頭状花序 (Head)

本当の「花」

花の集まりのことを「花序」といい、このタンポポのように花托の上に多数の（本当の）花が配列している花序を頭状花序という。キク科の花序は、頭状花序である

小花ともいう。

花が咲く順序：外側から内側に向けて咲いていく。